

令和6年度 第1回日進市男女平等推進審議会議事録

日 時 令和6年6月3日（月）午前10時～11時30分頃  
 場 所 日進市役所 本庁舎4階 第3会議室及びオンライン  
 出席委員 渋谷典子、可児康則、小倉祥子、加藤豊司、原田義弘、横井寿史、  
 杉浦健太、塩満綾香、松岡成子、中尾猛（敬称略）  
 欠席委員 山田環、風岡美紀（敬称略）  
 事務局 小濱美紀（市民協働課長）、栗崎明子（同課長補佐）、  
 荒井有紀子（共生共同係主査）、松田涼輔（同係主事）  
 傍聴の可否 可  
 傍聴の有無 有（1名）

議事及び発言内容

| 発言者 | 内 容                                               |
|-----|---------------------------------------------------|
|     | 開会                                                |
| 事務局 | 市民協働課長あいさつ                                        |
| 事務局 | 審議会概要説明、資料確認                                      |
| 事務局 | 開会を宣す                                             |
| 会 長 | 次第に沿って進行                                          |
|     | 傍聴者の入室（1名）                                        |
| 会 長 | 会長あいさつ                                            |
|     | 諮問について、事務局から説明を。                                  |
| 課 長 | （諮問を読み上げる）                                        |
| 会 長 | 諮問を受けた。今後、審議会で見解を出し合い、話し合っていきたい。                  |
|     | <b>（1）第3次日進市男女平等推進プラン見直しの進め方について</b>              |
| 事務局 | （資料1に沿って説明）                                       |
| 会 長 | 意見のある委員はいないか。                                     |
| 委 員 | 令和6年4月1日から、DV防止法が一部改正された。その内容を踏まえ、計画の見直しを行っていくのか。 |
| 事務局 | 今後計画の見直しを行っていく際には、指摘いただいた点も含め、内容を検討していく。          |
| 委 員 | 計画の位置づけ及び内容の部分で、下線が引かれている部分について今後検討をしていくということか。   |
| 事務局 | 下線部は、本計画を策定する根拠部分。                                |
| 委 員 | 下線部は根拠という旨を記載しておいてもらえるとありがたい。                     |
| 会 長 | 他に質問がないようだが、この方向で進めていくということよろしいか。                 |
| 委 員 | 一同了承                                              |
|     | <b>（2）男女共同参画に関する子ども意識調査について</b>                   |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | 計画策定にあたって、前議題で述べたように市民向け意識調査を1月頃に実施する予定であるが、この調査は18歳以上が対象となることが想定される。それに先立ち、子どもからの意見も募集するという意味で、毎年夏頃に小学5年生から中学3年生に対して実施している男女共同参画あるある川柳・標語の作品募集に合わせて、子どもの意識調査として設問を記載したい。資料2はその案であり、ご意見いただきたい。いただいた意見を基に事務局で修正し、7月上旬には学校へ通知したい。                                                                                                                                                                      |
| 会 長 | 意見や質問はあるか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委 員 | 川柳の作品応募数はどれくらいか。あまり少ないと、分析が難しいのではないか。また、この分野に意識が高い子に回答が偏らないか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 事務局 | 全校参加ではないが、例年多くの参加がある。作品数は多い年や少ない年はあるが、1000件は超えており、母数としては多いと思われる。昨年度は約1950作品であった。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 会 長 | 対象人数の、3～4人に一人は取り組んでくれているのだろう。こうした取組で、家族で話題にしてもらえるとよい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 委 員 | 回答の偏りは大丈夫か。本当は全校で実施してもらう方がよいのではないか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事務局 | 回答数が、意識の高い子に偏ることを完全には否定できないが、作品応募についてはクラスや学年単位で取り組んでいただいております、応募したい子が応募する形式ではない。そのため、意識の偏りは少ないと思われる。<br>また、教育現場での事務軽減、男女川柳で男女共同参画について考えてもらう機会に合わせて意識調査も行いたいという思いから、既存の事業である男女川柳に合わせて意識調査を実施したいと考えている。                                                                                                                                                                                                |
| 委 員 | 学校側で求められているものが多い。学校での業務が多岐にわたっており、一つ調査の回答を行うのにも、どう時間を作り出すか難しくなっている。なるべくまとめて実施ができると良い。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 委 員 | なるべくシンプルに良い設問を設けたい。3点ほど意見する。1点目、意識調査を行う際に、どのように性別を聞く予定か伺いたい。小学校の高学年にもなれば、中には「答えたくない」、「分からない」という子がいることも想定される。できれば、男、女だけではない選択肢を設けて欲しい。<br>2点目、(1)では「～ありますか。」と聞いているため、選択肢は「そう思う」ではなく、「ある」、「どちらかといえばある」などの記載が良いのではないか。同様に(2)も、思う・思わないの選択肢ではない方がよいのでは。<br>3点目、現場の負担も考え、できれば設問は少ない方がよいと思うが、今後のプラン見直しのために、(2)で「ある」と答えた子には、誰に言われたかを設問に加えて欲しい。親なのか、祖母・祖父なのか、教師なのか。その結果次第で、次のプランの重点的に取り組みを行うべき対象が見えてくるのではないか。 |
| 事務局 | 1点目については、市で性別欄の設定方針があり、それに沿って「女性・男                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|     |                                                                                                                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>性・回答しない」と3つ目の選択肢を設ける方向で準備する予定。</p> <p>2点目については、いただいた意見を参考に見直していく。</p> <p>3点目については、「誰から言われたか」という設問を記載する場合、その回答の選択肢について意見があれば伺いたい。</p>                                          |
| 委 員 | <p>父親・母親・女性教員・男性教員・塾講師・友達（男の子）・友達（女の子）・祖父・祖母、家族や親を中心に、性別ごとに設けることが良いのではないかと。</p>                                                                                                  |
| 委 員 | <p>スポーツクラブや習い事も考えられる。</p>                                                                                                                                                        |
| 会 長 | <p>修正したあとの進捗は共有されるのか。</p>                                                                                                                                                        |
| 事務局 | <p>いただいた意見を基に修正し、一度委員の皆様へ送付させていただく。</p>                                                                                                                                          |
| 会 長 | <p>他に意見はないか。</p>                                                                                                                                                                 |
| 委 員 | <p>設問は増えてしまうが、「リケジョ」を増やしていく課題がある中、得意な科目や好きな科目を答えてもらってはどうか。</p>                                                                                                                   |
| 委 員 | <p>量としては現在くらいが適正だと考えている。聞きたいものはたくさんあると思うが、それでは量が増えすぎてしまうため、科目までは無くて良いのでは。</p>                                                                                                    |
| 会 長 | <p>（4）の語句についての設問に、ジェンダーという単語を加えることはできるか。</p>                                                                                                                                     |
| 事務局 | <p>事務局で検討中、男女共同参画社会かジェンダーとするか迷った部分。検討させていただく。男女共同参画社会は残したほうがよいか。</p>                                                                                                             |
| 会 長 | <p>残しておいたほうが良いと思う。男女共同参画社会は公民や社会、ジェンダーに関しては保健や家庭科などで習うケースが多いと聞いている。学ぶ場面が違いため、両方聞いてもよいと思う。</p>                                                                                    |
| 事務局 | <p>参考にさせていただく。</p>                                                                                                                                                               |
| 委 員 | <p>一般向けの意識調査は、今回の子ども向けアンケートとは全く異なる内容となるのか。</p>                                                                                                                                   |
| 事務局 | <p>学校生活特有の設問はあるが、（3）などは過去から一般向けに聞いてきている内容である。一般向けと比較ができるような設問となっている。</p>                                                                                                         |
| 委 員 | <p>一般向け調査は18歳以上が対象となれば、一部は高校生が含まれるが少ないため、高校生向けにも聞いたほうが良いのではないかと。</p>                                                                                                             |
| 会 長 | <p>重要な意見だと思う。他市の例だが、高校生向けに文化祭などに出向き、グループワークを実施するケースもある。検討いただきたい。</p>                                                                                                             |
| 委 員 | <p>（3）の、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきという言葉だが、過去からこの設問項目なのであれば表現は変えるべきではないかもしれないが、子ども向けであれば「お父さん」や「お母さん」の方がイメージしやすいのでは。また、現代は多くの女性も就職をすることが増え、この考え方自体が昔のものではないか。今後検討していくにあたり、考えていっても良いのでは。</p> |
| 会 長 | <p>まだまだ70代や80代では、この考え方に賛成する人がかなりいるデータがでている。</p> <p>子ども達はそんなことを全く思っていないという結果がでることも重要な</p>                                                                                         |

|     |                                                                                                                                                                                        |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | ことかと思う。夫と妻については、括弧書きで追記をしたら分かりやすいかもしれない。                                                                                                                                               |
| 委 員 | 今の母親・父親世代は、みんな働くという意識が主流だと思われるが、その中でこの設問項目を続けていくべきなのか。                                                                                                                                 |
| 委 員 | 学生向けのワークで、将来結婚したら家事育児の分担割合をどうするか、といった内容を実施すると、5：5になるケースは少ない。7：3くらいになるケースが多く、家のことは担当したい、稼ぎの良い夫に任せたい、など根深く残る部分だと思う。ゆくゆくは設問の考え方は無いものになっていくとは思っている。                                        |
| 委 員 | 前回の調査でも、いまだに賛成の割合が結構な数値で出てくる。まだ設問項目自体を外す段階ではないと思う。                                                                                                                                     |
| 事務局 | オンライン参加の委員から、「紙媒体だけの調査か、QR コードを使用するなどオンラインでデータを収集できればよいのでは」、という意見をいただいたので共有する。                                                                                                         |
| 会 長 | その意見に対して事務局はどうか。                                                                                                                                                                       |
| 事務局 | 川柳募集の用紙に、設問は記載したうえで、タブレットで読み込むことができる QR コードを設置し、回答はこちらから、といった設定を予定している。                                                                                                                |
| 会 長 | 今後事務局には今回の意見を反映したものを、委員へ共有してもらいたい。                                                                                                                                                     |
|     | <b>その他（報告）</b>                                                                                                                                                                         |
| 会 長 | では、その他について事務局から説明を。                                                                                                                                                                    |
| 事務局 | （資料3に沿って説明）                                                                                                                                                                            |
| 会 長 | 何か意見はあるか。                                                                                                                                                                              |
| 委 員 | 対応が可能な場合とは、どのような場合なのか。<br>また、手続き関係よりも、二人の関係の証として、証明書を残しておきたいという意図だと思うため、何かスタンプを押して返すなどの対応はできないか。                                                                                       |
| 事務局 | 平日夜間や土日祝日に事務局との都合が合えば対応が可能という意味。年末年始や、土日であっても他の業務で対応ができない場合もあるため、可能な場合という表現とした。<br>無効の証明書を手元に残せないかは、事務局でも検討した。無いとは思いますが無効の証明書が不正利用されてはいけないため、要綱に沿って回収させていただき旨を回答した。スタンプ等は、今後検討させていただく。 |
| 会 長 | 戸籍とは違う管理となるのか。二人の関係が無くなった場合、記録は残るのか。                                                                                                                                                   |
| 事務局 | 各市町によって対応が分かれるところだと思うが、日進市では永年保存ではない。婚姻届の提出時にコピーをとる方もいると聞いている。宣誓時には受領証のコピーをとっていただくなどの案内をしていく。                                                                                          |
| 会 長 | ぜひ案内をしていただきたい。<br>ファミリーシップ宣誓制度となってから申請はあったか。                                                                                                                                           |

|     |                                                                                                              |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | 5月の導入からは、まだ0件である。                                                                                            |
| 会 長 | 連携協定に日進市が参加していることは心強く思っている。<br>他に何かあるか。                                                                      |
| 委 員 | 宣誓のタイミングだが、日進市の職員は必ず同席しなくてはならないのか。<br>申請を受け、後から郵送で対応はできないのか。宿直などが受理だけ行うことはできないのか。                            |
| 事務局 | 宣誓をする方と対面することで、意思確認という意味合いがある。他の自治体ではオンライン申請はあるため、今後の課題として検討する。                                              |
| 委 員 | 意思確認をどのようにするかという問題だと思われる。<br>婚姻届だと意思確認はないが。                                                                  |
| 会 長 | 婚姻届だと裁判になるケースもあるため、そういったものを防止するため、対面という側面もあるだろう。                                                             |
| 会 長 | 全体を通して、他に意見はないか。                                                                                             |
| 委 員 | (意見なし)                                                                                                       |
| 会 長 | それでは進行を事務局へお返しする。                                                                                            |
| 事務局 | 議事進行ありがとうございました。委員の皆様も貴重なご意見ご審議ありがとうございました。以上を持って令和6年度第1回男女平等推進審議会を終了する。次回の会議については8月か9月を予定しており、あらためて日程調整を行う。 |